怖い？でも行きたい！世界遺産

知るほど！調査隊

ガイコツだらけの教会や、崖からはみ出した建物……。ゾワゾワするこれらも、じつは世界遺産なんだ。

世界遺産は、ユネスコ（国連教育・科学・文化機関）の世界遺産条約に基づく、私たちが未来へとのこすべき宝物＝人類の歴史がつくった「文化遺産」、地球の活動が生み出した「自然遺産」、両方の要素を持つ「複合遺産」がある。現在、世界中に1121件、日本は23件が登録されていて、多くは観光地としても人気が高い。その裏には不気味な伝説や実話、厳しい掟、大自然の驚異などの要素をもつものもある。そこで、世界遺産アカデミーの宮澤光さんに、怖い世界遺産を紹介してもらった。「世界遺産が有する歴史には、華やかで美しいところだけではなく、暗く怖いところが必ずあります。それがまた、世界遺産の魅力なのです」怖いけれど見に行きたい。むしろ怖いから見てみたい？　そんな世界遺産を紹介しよう！

大自然の力が怖い！

溶岩が海まで流れる！

ハワイ火山国立公園
アメリカ／自然遺産

現在も噴火を繰り返す、ハワイ島のキラウエア火山。軟らかい溶岩は大爆発が起きにくく「世界一安全な火山」と言われることもある。だが、油断は禁物。2018年の噴火では、熱い溶岩が海まで流れ込み、溶岩流で住宅街が壊滅し、入り江が埋め立てられてしまった。

イエローストーン国立公園
アメリカ／自然遺産

地下に大量のマグマが！

マグマによって熱くなった高温の水がわく泉、グランド・プリズマティック・スプリング。

バイソンやオオカミが生息する大自然の地下には、世界最大級のマグマだまりがある。もし大爆発すれば、地球全体規模での大被害になるという。ただし、数万年後の話なのでご安心を。

幽霊や伝説が怖い！

王妃の幽霊がさまよう

ロンドン塔
イギリス／文化遺産

11世紀に築かれた城塞。現在もイギリス王室が所有し、財宝などを保管している。15～16世紀には身分が高い人の処刑場だった。そのせいか無実の罪で処刑されたアン・ブーリン（女王エリザベス１世の母）ほか、幽霊の目撃談が多い。また「塔からカラスが消えると王室が滅ぶ」という言い伝えがあるため、現在も飼育係が、数羽のカラスを大切に飼っている。「罪人を投獄するための、テムズ川に接する水門は『反逆者の門』と呼ばれました。投獄された王妃や女王などで処刑されなかったのは、後の女王エリザベス１世だけです」（宮澤さん）

姫路城
日本／文化遺産

お菊の井戸がある

殺されたお菊さんの亡霊が井戸から現れ、毎晩「１まーい、２まーい」と皿を数える、有名な怪談。約400年前に築かれ、天守の美しさで有名な姫路城はその舞台だったと言われ、「お菊井戸」が現在もある！

グレイフライアーズ・カークヤード

エディンバラの旧市街と新市街
イギリス／文化遺産

「世界一怖い墓地」!?

21世紀の現代に、幽霊に襲われたという報告が500件以上！　一部の区域はガイドなしでは見学不可になった。

セドレツ納骨堂

クトナー・ホラ歴史地区の聖バルボラ教会とセドレツ地区の聖母マリア大聖堂　チェコ／文化遺産

見た目のインパクトが怖い！

約1万人の骨で装飾！

14世紀に大流行したペストの犠牲者など、約４万人が葬られていたセドレツ納骨堂。1870年、その人骨の一部をシャンデリアや壁飾りの材料に用いた内装がほどこされた。

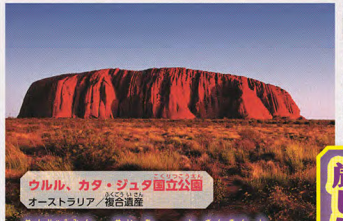
チチェン・イッツァの古代都市
メキシコ／文化遺産

ここに心臓を置いた

チャクモール像

心臓をささげた台！

約1000年前に栄えた、マヤ文明の遺跡。チャクモール像は死んだ戦士を表し、神に生けにえの心臓をささげる台座だと考えられている。



ウルル、カタ・ジュタ国立公園
オーストラリア／複合遺産

先住民の聖地は登山禁止に！

ウルルは「エアーズ・ロック」の名でも知られ、頂上に登るのが大人気だった。本来は先住民にとって司祭以外は入れない神聖な地。観光客のマナーの悪さも問題となり、先住民の文化を尊重して、昨年から観光客の登山が全面禁止となった。記念にこっそり石を持ち帰ったら災いが降りかかったという観光客が、お詫びの手紙とともに石を送り返してくることも多数あった。

聖山アトス
ギリシャ／複合遺産

女性は入山禁止

ギリシャ正教の聖地で、修道士たちの修行の場。1406年に女性の入山が禁止された。この決まりは人間だけに限らず、家畜もオスしか飼われていない。

厳しい掟が怖い！

持ち帰れない！　話せない！

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群　日本／文化遺産

沖津宮

約1600年前から神に祈るための島だった沖ノ島（福岡県）。島からは草１本持ち帰ってはならず、見聞したことを誰かに話すのも禁止という掟がある。島内のことは多くの謎に包まれている。

ワクワクするほど怖い！

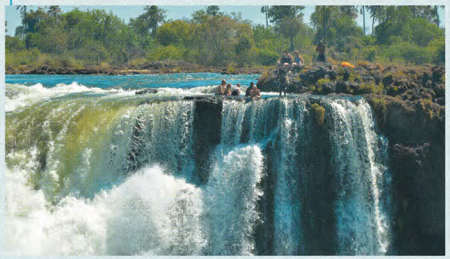
要塞都市クエンカ
スペイン／文化遺産

断崖絶壁に立つ「宙吊りの家」

切り立った高い崖の上ギリギリにあり、バルコニーは完全にはみ出している。景色はいいかもしれないが、下は見たくないよね。「崖の上の街に少しずつ建物を増やしていった結果、崖ぎりぎりまでぎっちり建物が立つ街並みになってしまいました」（宮澤さん）

滝の上で水遊び！

滝の名前「モシ・オ・トゥニャ」は、「雷鳴のような音が響く水煙」という意味。最大落差150m、横幅1700m、雨期には毎分５億L の水が流れる。滝のふちに、「デビルズ・プール（悪魔の水たまり）」と呼ばれるくぼみがあり、命知らずの観光客が、水着になって水遊び。一歩まちがえれば、150m下の滝つぼにまっさかさま。勇気あるキミ、チャレンジしてみたい!?



ヴィクトリアの滝（モシ・オ・トゥニャ）
ジンバブエ・ザンビア／自然遺産

宮澤　光さん

世界遺産検定を行う、NPO法人世界遺産アカデミーの主任研究員。

おもな著書に「世界遺産で考える５つの現在」（清水書院）、「世界遺産のひみつ」（イースト・プレス）など。「普通に生活していると出会えない魅力的な文化や自然が、世界には多くあります。世界遺産を知ることは探検に似ています！」

日本の新しい世界遺産は？

世界遺産は、各国からの推薦を審査して、ユネスコの世界遺産委員会が決定する。日本は「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」を自然遺産に推薦している。しかしコロナ禍で今年の委員会は開催延期に。来年の発表に期待しよう！

奄美大島と徳之島だけに生息する、アマミノクロウサギ。

歴史に残る実話が怖い！

モン・サン・ミシェルとその湾
フランス／文化遺産

海にのまれた巡礼者

小島にそびえる修道院。海は干満差が激しく、966年の修道院建造以来、信者は、引き潮の時を狙って干潟を歩き島へ渡った。渡りきれず波に流される者が多く、「行く前に遺書を書け」と言われるほどだった。「美しい景観ですが、18世紀末のフランス革命時には監獄として使われ、石の独房が今も残っています」（宮澤さん）

悲恋と復讐の実話！

14世紀、ペドロ王子は侍女イネスと恋に落ちたが、父王の反対でイネスは暗殺されてしまう。父の死後、王となったペドロは暗殺に関わった家臣たちを処刑。イネスの遺体を掘り起こしてドレスを着せ、自ら戴冠式を行い正式な妃に迎えた！

アルコバサの修道院
ポルトガル／文化遺産

彫刻が美しいイネスの現在の棺。王の棺と足と足を向かい合わせて、修道院に安置されている。

監修／NPO法人 世界遺産アカデミー　写真／PPS通信社、フォトライブラリー　デザイン／タナカデザイン